

2025年2月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年10月8日

上場会社名 株式会社コックス 上場取引所 東
コード番号 9876 URL <http://www.cox-online.co.jp/>
代表者（役職名）代表取締役社長 兼デジタル推進本部長（氏名）三宅 英木
問合せ先責任者（役職名）経理部長（氏名）柳澤 愛（TEL）03-5821-6070（代）
半期報告書提出予定日 2024年10月9日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家、アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年2月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年3月1日～2024年8月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期中間期	7,639	1.7	882	1.8	898	△11.5	846	△3.4
2024年2月期中間期	7,510	2.8	867	157.3	1,015	222.5	876	371.7

（注）包括利益 2025年2月期中間期 922百万円（△5.7%） 2024年2月期中間期 977百万円（107.6%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年2月期中間期	30.65	30.60
2024年2月期中間期	31.73	31.71

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年2月期中間期	12,329	8,540	69.2
2024年2月期	11,833	7,612	64.3

（参考）自己資本 2025年2月期中間期 8,531百万円 2024年2月期 7,609百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期	—	—	—	0.00	0.00
2025年2月期	—	—	—	—	—
2025年2月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年2月期の連結業績予想（2024年3月1日～2025年2月28日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,500	4.1	1,200	0.1	1,150	△17.6	900	△21.2	32.40

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社、除外 一社
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（中間期）

2025年2月期 中間期	27,711,028株	2024年2月期	27,711,028株
2025年2月期 中間期	86,914株	2024年2月期	86,881株
2025年2月期 中間期	27,624,139株	2024年2月期 中間期	27,621,742株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当中間期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結会計期間	6
中間連結包括利益計算書	7
中間連結会計期間	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当中間期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国の経済は、物価高騰の影響を受けつつも、個人消費の増加等により景気は緩やかな回復基調にありました。一方で、原材料価格・エネルギー価格の高騰、米国の金融政策の影響を受けた円安の常態化など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社の属するアパレル・ファッション業界におきましても、原材料費、物流費、電力料の高騰に加え、賃上げや労働力の困り込みおよび不足解消のための人件費、求人費の上昇などにより、厳しい経営環境にあります。また、気候不順や物価上昇に対する節約志向の高まり等から、慎重な購買行動が続いている状況でもあります。

当社は、このような厳しい環境に柔軟にそして迅速に対応していくために、重点施策として掲げている「ブランド力強化・MD改革による荒利率の改善」「EC運営改善・Dtc強化によるEC売上の拡大」「売り方改革・売場改革による店舗売上の回復」に継続して取り組んでまいりました。

「ブランド力強化・MD改革による荒利率の改善」においては、3年目となる著名タレントとの雑誌タイアップ企画を、メンズ商品にも拡大することでブランド発信強化・プロパー売上拡大策を推進いたしました。ikkaブランドのリニューアルについては、83店舗まで完了しております。これまでにリニューアルした店舗の実績を踏まえ、引き続き改装店舗を拡大してまいります。

MD改革におきましては、販売面では前連結会計年度から引き続き、値引き販売の抑制、催事・EC等でのキャリア商品の丁寧な活用を推進してまいりました。加えて、猛暑・残暑を見据えた夏物商戦の見直しによる夏物在庫の積み増しが8月度の売上伸長に寄与いたしました。商品調達面では、中国ならびにアセアン地域からの商品調達による仕入原価の低減により、為替リスクの軽減を図った結果、営業総利益率は0.1ポイントの悪化に留めることができました。

「EC 運営改善・Dtc 強化による EC売上の拡大」においては、自社ECサイト強化に向けた会員アプリのリニューアルを実施いたしました。店頭での会員獲得強化の継続とアプリ上での会員メリットの強化を行った結果、アプリ会員数は前年同期比133.8%となりました。Dtcでは、SNSを通じた新規顧客獲得策として開始したインフルエンサーとのコラボ商品がブランド認知度拡大と売上拡大の両面で奏功しており、EC限定ブランド「notch.」は売上高前年比136.6%と伸長しております。

「売り方改革・売場改革による店舗売上の回復」においては、上記タイアップ商品を中心としてプロパー販売を強化するとともに、再来店クーポンの拡充、売場体積・陳列在庫の拡大ならびに接客強化を図り、販売効率の向上に努めてまいりました。

店舗数におきましては、3店舗を閉店した一方で、期間限定店舗として展開していた2店舗を正規出店したことにより、当中間連結会計期間末の店舗数は、175店舗となりました。販売費及び一般管理費は、固定費の削減に継続して取り組む一方で、従業員の処遇改善や売上拡大施策等に連動する費用の増加、ブランド力強化のための投資等により前年同期比101.6%となりました。

その結果、当中間連結会計期間の連結業績は、売上高76億39百万円(前年同期比101.7%)、営業利益8億82百万円(前年同期は営業利益8億67百万円)、経常利益8億98百万円(前年同期は経常利益10億15百万円)、親会社株主に帰属する中間純利益8億46百万円(前年同期は親会社株主に帰属する中間純利益8億76百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態の分析

当中間連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ4億96百万円増加し、123億29百万円となりました。増減の主な内容は、現金及び預金が2億2百万円、売上預け金が2億1百万円、投資有価証券が79百万円、為替予約が34百万円増加し、棚卸資産が20百万円、無形固定資産が18百万円減少したこと等によるものです。

当中間連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ4億31百万円減少し、37億88百万円となりました。増減の主な内容は、未払費用が46百万円、預り金が31百万円増加し、未払金が2億68百万円、繰延税金負債が65百万円、未払法人税等が49百万円、電子記録債務が46百万円減少したこと等によるものです。

当中間連結会計年度末の純資産は、前連結会計年度末に比べ9億28百万円増加し、85億40百万円となりました。増減の主な内容は、利益剰余金が8億46百万円、その他有価証券評価差額金が55百万円、繰延ヘッジ損益が23百万円増加し、退職給付に係る調整累計額が12百万円減少したこと等によるものです。

②キャッシュ・フローの状況の分析

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ2億2百万円増加し、46億38百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は、2億26百万円(前年同期は4億73百万円の増加)となりました。その主な増加の内訳は、税金等調整前中間純利益8億96百万円、減価償却費49百万円等によるものです。主な減少の内訳は、売上債権の増加2億8百万円、法人税等の支払額2億2百万円、仕入債務の減少71百万円等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は、29百万円(前年同期は27百万円の増加)となりました。その主な増減の内訳は、差入保証金の回収による収入4百万円、資産除去債務の実現等を含むその他支出18百万円、無形固定資産取得による支出6百万円、有形固定資産取得による支出5百万円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は、0百万円となりました。その主な増減の内訳は、自己株式の取得による支出6千円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年2月期の業績予想については、2024年4月10日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当中間連結会計期間 (2024年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,935,899	3,138,004
受取手形及び売掛金	40,023	38,396
売上預け金	459,987	661,685
棚卸資産	1,673,647	1,653,344
未収入金	102,731	129,889
関係会社預け金	1,500,000	1,500,000
為替予約	—	34,267
その他	77,090	74,467
貸倒引当金	△636	△714
流動資産合計	6,788,743	7,229,340
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	101,954	106,281
その他(純額)	95,551	78,827
有形固定資産合計	197,506	185,108
無形固定資産		
	98,957	80,830
投資その他の資産		
投資有価証券	2,915,220	2,994,416
差入保証金	1,678,530	1,653,581
長期前払費用	2,846	2,628
退職給付に係る資産	152,462	184,830
その他	500	500
貸倒引当金	△1,509	△1,487
投資その他の資産合計	4,748,049	4,834,469
固定資産合計	5,044,513	5,100,408
資産合計	11,833,257	12,329,748

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当中間連結会計期間 (2024年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	818,511	793,429
電子記録債務	672,322	625,609
未払金	522,824	254,242
未払法人税等	272,006	222,869
未払消費税等	168,942	162,952
未払費用	359,640	406,116
契約負債	9,264	8,136
預り金	18,216	49,677
賞与引当金	240,248	225,148
役員業績報酬引当金	26,186	14,230
店舗閉鎖損失引当金	14,417	12,465
資産除去債務	2,575	5,281
ポイント引当金	4,655	4,482
その他	24,350	644
流動負債合計	3,154,162	2,785,286
固定負債		
繰延税金負債	374,835	309,512
資産除去債務	691,696	693,962
固定負債合計	1,066,531	1,003,475
負債合計	4,220,693	3,788,762
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,503,148	4,503,148
資本剰余金	5,352,136	5,352,136
利益剰余金	△3,482,692	△2,635,887
自己株式	△37,061	△37,068
株主資本合計	6,335,530	7,182,329
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,026,492	1,081,534
繰延ヘッジ損益	—	23,741
為替換算調整勘定	46,948	56,322
退職給付に係る調整累計額	200,592	187,716
その他の包括利益累計額合計	1,274,033	1,349,315
新株予約権	2,998	9,341
純資産合計	7,612,563	8,540,986
負債純資産合計	11,833,257	12,329,748

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
売上高	7,510,861	7,639,350
売上原価	2,755,880	2,807,849
売上総利益	4,754,980	4,831,500
販売費及び一般管理費	3,887,416	3,948,643
営業利益	867,564	882,857
営業外収益		
受取利息	191	1,369
受取配当金	46,820	41,467
為替差益	100,299	—
雑収入	2,013	2,193
営業外収益合計	149,324	45,030
営業外費用		
支払利息	45	10
為替差損	—	27,831
店舗事故損失	1,021	1,414
雑損失	122	81
営業外費用合計	1,189	29,338
経常利益	1,015,699	898,549
特別利益		
雇用調整助成金	233	—
特別利益合計	233	—
特別損失		
固定資産除却損	—	1,315
災害による損失	3,924	245
特別損失合計	3,924	1,561
税金等調整前中間純利益	1,012,008	896,987
法人税、住民税及び事業税	202,577	159,950
法人税等調整額	△66,879	△109,768
法人税等合計	135,698	50,182
中間純利益	876,309	846,805
親会社株主に帰属する中間純利益	876,309	846,805

中間連結包括利益計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
中間純利益	876,309	846,805
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	33,432	55,041
繰延ヘッジ損益	66,062	23,741
為替換算調整勘定	4,929	9,374
退職給付に係る調整額	△3,038	△12,875
その他の包括利益合計	101,386	75,281
中間包括利益	977,695	922,086
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	977,695	922,086
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	1,012,008	896,987
減価償却費	50,276	49,193
災害による損失	3,924	245
賞与引当金の増減額(△は減少)	48,452	△15,100
役員業績報酬引当金の増減額(△は減少)	△9,085	△5,613
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	—	△1,952
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△37,942	△35,371
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△36	56
契約負債の増減額(△は減少)	△740	△1,127
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△2,025	△173
受取利息及び受取配当金	△47,012	△42,837
支払利息	45	10
為替差損益(△は益)	△100,299	27,937
売上債権の増減額(△は増加)	△17,969	△208,365
棚卸資産の増減額(△は増加)	196,940	20,302
仕入債務の増減額(△は減少)	△216,582	△71,795
有形固定資産除却損	—	1,315
未払費用の増減額(△は減少)	△6,062	46,475
未払消費税等の増減額(△は減少)	△82,343	△5,990
預り金の増減額(△は減少)	1,571	31,461
未払事業税の増減額(△は減少)	△6,179	△6,114
その他	△120,708	△292,069
小計	666,229	387,477
利息及び配当金の受取額	46,879	42,074
利息の支払額	△45	△10
法人税等の支払額	△239,677	△202,973
営業活動によるキャッシュ・フロー	473,386	226,567
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,195	△5,600
無形固定資産の取得による支出	△915	△6,900
差入保証金の差入による支出	△605	△2,700
差入保証金の回収による収入	40,898	4,388
その他	△8,773	△18,414
投資活動によるキャッシュ・フロー	27,409	△29,225
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△10	△6
ストックオプションの行使による収入	11	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	0	△6
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,324	4,771
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	502,121	202,105
現金及び現金同等物の期首残高	3,231,728	4,435,899
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,733,850	4,638,004

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前中間連結会計期間(自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)

当社グループは、衣料品小売業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当中間連結会計期間(自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)

当社グループは、衣料品小売業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。